

美術館は地域の文化資源であり、地域に活気を与え、人々の感性を豊かに育む役割を担っています。県立広島大学は、このたび、3つの美術館と連携し、館長による公開講演会を開催することとなりました。ぜひ、ご聴講ください。

広島県立美術館、奥田元宋・小由女美術館、ひろしま美術館、県立広島大学連携公開講演会

美術館と地域文化

平成24年

10月12日(金) 13:00~14:30

11月 8日(木) 10:40~12:10

11月27日(火) 14:40~16:10

定員100名
無料

県立広島大学 広島キャンパス

〒734-8558 広島市南区宇品東1-1-71

※駐車場の用意がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

申込方法

往復ハガキで、往信面の裏に①郵便番号、②住所、③名前(ふりがな)、④電話番号、⑤参加希望日を、返信面の表に参加される方の住所、名前をご記入の上、下の宛先にお送りください。締切日以降に案内をお届けします。なお、1枚の往復ハガキで、複数名の申込や複数回まとめたの申込もできます。

第1回締切/平成24年10月 3日(水)

第2回締切/平成24年10月30日(火)

第3回締切/平成24年11月19日(月) それぞれ消印有効です。

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学講演会・公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

申込・問合せ先

県立広島大学地域連携センター「美術館と地域文化」係
〒734-8558 広島市南区宇品東1-1-71

TEL.082-251-9534 (平日 9:00~12:00, 13:00~18:00)

第1回

「美術館革命」って何? -地域と美術館-

10月12日(金) 13:00~14:30

【講演者】越智 裕二郎(広島県立美術館長)

第2回

都市広島の中核性と美術館の役割

11月8日(木) 10:40~12:10

【講演者】村上 勇(奥田元宋・小由女美術館長)

第3回

名画を楽しむ

11月27日(火) 14:40~16:10

【講演者】宇田 誠(ひろしま美術館長)

美術館と地域文化

第1回
10/12 (金)

「美術館革命」って何？ -地域と美術館-

【講演者】越智 裕二郎 (広島県立美術館長)

巷には『美術館革命』や『超・美術館革命』なる本が出版され、大変売れている由、それは何がしか時流を捉えた言葉であるからでしょう。かつて「美の殿堂」と呼ばれた美術館が国をはじめ、県ごとに建てられ、大きな市にも存在する美術館。年に何百万人の集客のあるところから数万人という規模の美術館までさまざまです。それら美術館は何のために建てられたのか？美術館を維持する経費は、1万平米以上の美術館にとっては莫大です。だからこそ、今、美術館に経営（マネジメント）が求められています。しかし美術館は利益を出す会社組織ではありません。美術館は何のために存在するのか、広島県立美術館を例に、この優れて近代が生み出した文化装置である美術館をもう一度考えてみましょう。



越智 裕二郎 (広島県立美術館長)

昭和24年、神戸市生まれ。早稲田大学大学院文学研究科美術史専攻修士課程修了。神戸市立博物館学芸員を経て、平成2年より静岡県立美術館に勤務。平成12年より兵庫県立美術館に異動し、企画・学芸部門マネージャー、参与を歴任。平成23年、広島県立美術館長に就任。



第2回
11/8 (木)

都市広島の中枢性と美術館の役割

【講演者】村上 勇 (奥田元宋・小由女美術館長)

村上 勇 (奥田元宋・小由女美術館長)

昭和23年、益田市生まれ。明治大学文学部卒業後、島根県立博物館学芸員を経て、昭和63年より広島県立美術館に勤務。平成14年から同館の次長兼学芸課長。平成20年に奥田元宋・小由女美術館長に就任。平成24年度後半からNHK文化センターで「陶磁文化史」の講座を担当。

美術館は都市機能の一端を担う重要な施設です。大正4年日本初の私立美術館「観古館」が縮景園の一角に、浅野長勲により設立され、県外客が3割を占めたことから当時の都市広島の中枢性が知られます。戦後、数々の美術館が設立されましたが、都市広島の持つ魅力、中国地域における中枢性などは一段と充実したのでしょうか。松江・広島・三次での具体例に触れながら、美術館の果たす役割と新たな地域文化の構築について考えます。

第3回
11/27 (火)

名画を楽しむ

【講演者】宇田 誠 (ひろしま美術館長)

今日の絵画史上、一番関心を寄せられているのが、ムンクとピカソだといわれています。ピカソはともかくムンクの絵は、オークションには決して出てこないだろうことが常識となっていました。ところが、皆さんもアツと驚かれたでしょう。サザビーズ社がオークションで、ムンクの絵が、一点で96億円の値が付いたのです。日本国内には、ムンクの油彩画は3点しかありません。このあたりも含めて、「名画を楽しむ」という題目のもと、1.ひろしま美術館（別称：印象派美術館）の誕生、2.絵画史上での印象派の位置づけ、3.名画の楽しみ方、4.今日の美術館の役割と課題についてお話しします。



宇田 誠 (ひろしま美術館長)

昭和9年、福山市生まれ。早稲田大学政経学部卒業後、広島銀行に入行。岡山支店長、専務営業総本部長などを経て、平成6年、頭取に就任。平成12年に会長、平成18年に特別顧問を歴任し、平成16年から3年間、広島商工会議所の会頭を務めた。平成16年、ひろしま美術館の理事長兼館長に就任。